

第57回中央労働講座を受けて

日本海地方境港支部 足立隆太

今回、中央労働講座を受けて、全港湾の歴史や港湾労働者が今の労働条件を勝ち取るまでの苦労や、先輩たちが長い時間をかけて雇用や職域を守るために運動を続けてきたことを改めて再認識する事が出来ました。

さらに、現代社会における労働組合の役割についても考えさせられました。SNSの普及や、個人が孤立しやすい社会になっている現状がある中で、組合が中間組織として重要な役割を担っていると学びました。

また、コンテナ化や規制緩和、人手不足など、港湾を取り巻く環境が大きく変化する中で、港湾の雇用と労働条件を守る産別協定や事前協議制度の重要性を再認識し、学ぶ事が出来ました。

私は今回初めて中央労働講座を受講させて頂いたのですが、講座でのグループ討論、レクリエーションや懇親会の中で全国の方々と議論や意見交換をしたり、ドッチボールで一緒に汗を流したりと親交を深める事が出来ました。講座では始終自分の勉強不足を痛感させられていましたが、今回の講座で得た知識を支部の仲間と共有し、今後の組合活動に活かしていきたいと思います。この3日間で多くの貴重な経験を積ませて頂き有難うございました。